



第17回 帝京大学教職大学院フォーラム

～ 子どもを見つめて ～

共生社会の実現と学校の使命

— 特別支援教育に対する教師の当事者意識を問う —

2014年、日本は国連の「障害者の権利に関する条約」に批准して、障害の有無に関わらず共に生きる「共生社会」の実現に舵が切られました。同条約の第24条は「教育におけるインクルージョン」であり、全ての子どもが共に学ぶ場の実現が提唱されています。日本国内では近年、インクルーシブ教育の実現に向けて様々な答申や専門家会議があります。共生社会の実現に向けた施策の一方で、個々の教師における特別支援教育に対する当事者意識が向上しているとは言いがたい状況があります。また、2022年には国連障害者権利委員会による審査で、日本のインクルーシブ教育に向けた取り組み状況に対し勧告が発せられました。

本フォーラムでは、障害のある人の支援に関わってきた様々な立場の方々を招き、改めて特別支援教育に対する教師の当事者意識と共生社会の実現に向けた学校の役割について、“Think Globally, Act Locally”の視点から、会場の参会者、教職研究科学生・教員とともに考えていきます。

パネリストによる話題提供



片山 純子氏

(前 川崎市立東住吉小学校 校長)

「誰一人取り残さない特別支援教育 ～ある公立小学校の小さな挑戦～」



豊山 花林氏

(海老名市教育委員会 教育部 教育支援課 支援係 指導主事；本学教職研究科修了生)

「海老名市のフルインクルーシブ教育の推進～市民との対話を通じて～」



岩本 明子氏

(都立青鳥特別支援学校ベースボール部(硬式野球)生徒の保護者)

「障害のある子どもを持つ保護者の立場から」



及川 利紀

(帝京大学大学院教職研究科 教授)

「特別支援教育に関する教員養成・育成の現状と課題」

グループセッション (60分)

参加者を複数のグループに分けて、少人数で意見交換をします。

各グループの意見は、最後の全体セッションで共有されます。

2025年11月29日(土) 13:00～17:00(受付開始 12:30)

帝京大学八王子キャンパス(八王子市大塚359)・ソラティオスクエア4階

※事前申込制(裏面をご参照ください)

後援：東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、八王子市教育委員会、多摩市教育委員会、日野市教育委員会、相模原市教育委員会

「共生社会の実現と学校の使命 ―特別支援教育に対する教師の当事者意識を問う―」

プログラム（時程）

12:30 受付開始 資料のほか、グループセッションの班番号をお受け取りください

13:00 開会

13:10 主旨説明

13:20 話題提供

「誰一人取り残さない特別支援教育 ～ある公立小学校の小さな挑戦～」

片山純子氏（前 川崎市立東住吉小学校 校長）

「海老名市のフルインクルーシブ教育の推進 ～市民との対話を通じて～」

豊山花林氏（海老名市教育委員会 教育部 教育支援課 支援係 指導主事；本学教職研究科修了生）

「障害のある子どもを持つ保護者の立場から」

岩本明子氏（都立青鳥特別支援学校ベースボール部（硬式野球）生徒の保護者）

「特別支援教育に関する教員養成・育成の現状と課題」

及川利紀（帝京大学大学院教職研究科 教授）

14:20 本学教職研究科院生による発表

「所属校・実習校における校内支援体制」「グループセッションの事前協議」

14:50 グループセッション

参加者を複数のグループに分けて、以下のテーマについて少人数で意見交換をします

- ・パネリストによる話題提供、本学教職研究科院生による発表の感想
- ・国連障害者権利委員会による日本への勧告について
- ・「次年度から特別支援学級へ」「次年度から特別支援学校へ」と言われたら？
「特別支援学級／特別支援学校経験者は、言われた時にどうだった？」
「管理職の先生方は、どんな基準で特別支援担任を決めているの？」
- ・共生社会の実現に向けて、学校や教師にできること

16:05 全体セッション

グループセッションで出された意見を全体で共有し、パネリストから感想や意見をいただきます
コーディネーター：爲川雄二（帝京大学大学院教職研究科 准教授）

17:00 閉会

参加申込（Googleフォーム；2025年11月5日（水）まで）



※フォームにご入力いただいた個人情報は、本フォーラムの利用目的に必要な範囲内で利用し、その他の目的には利用いたしません。

<https://x.gd/mJ8Ky>

お問い合わせ：帝京大学教務課（教職大学院担当）

〒192-0395 東京都八王子市大塚359

電話 042-678-3300

e-mail kyoshoku@main.teikyo-u.ac.jp